

桃陵中だより

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃

5月号 令和4年4月28日

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ
社会に貢献する 生徒を育む』

新入生歓迎会

4月11日(月)6限に生徒会本部主催の「新入生歓迎会」を、体育館にて開催しました。コロナ禍のため、1年生と生徒会本部と部活動キャプテンは体育館で、2,3年生は各教室からZOOMでの参加となりました。プラカードを先導として新入生がきちっと並んで入場しました。司会から開会宣言があり、校歌を静聴(歌わずに静かに聴きました)しました。生徒会本部からの「オープニングビデオ」を観て、副会長から「歓迎の言葉」、新入生代表から「誓いの言葉」と続き、「生徒会活動の説明」、各部のキャプテンよりそれぞれの「部の紹介」など、盛りだくさんの取組となりました。



生徒会本部中心の2,3年生の準備は、十分な時間がかけられ、本当に心のこもった歓迎会になりました。また、1年生は、初々しいながらもきちっとした態度で臨み、もう「桃陵中生」だなあ、と感じました。桃陵中学校の伝統が引き継がれた場面となりました。

服育セミナー

4月20日(水)6限に、服育 Net 研究所から講師を招いて、「服育セミナー」を開催しました。体育館とTeams視聴(動画配信)で実施しました。内容としては「フォーマルスタイルの衣服の役割や相応しい着こなし」「TPO に合った服の着こなし」を扱い、具体的には、生徒が「服の着こなしについての正しい知識を身につけること」「中学校の標準服の着こなしやルール」について、主体的に考える取組になりました。

“服育セミナー”は、桃陵中学校として初めての取組で、その反響も大きかったです。生徒にとっても教職員にとっても服の着こなしを考えたり、話し合うことができたりと、“いい機会”になったと感じました。この取組をこれからの生活にぜひ生かしていきましょう。

コロナ禍の中ですが、

いわゆる第6波は、なかなか収まりません。新規感染者がほとんど減らない状態でしたが、でも最近はずいぶん減少傾向です。そんな中、桃陵中学校では、感染症対策を徹底して、できる形で学校行事を開催していきます。

1組は5月6日「校外学習」において校区内でフィールドワークをします。1年生は5月23日6限、武道場で市教委より講師を招いて「非行防止教室」を行います。2年生は5月17日「校外学習」において、京都市内でフィールドワーク(班別研修)と“南座 歌舞伎 鑑賞教室”を行います。3年生は5月27日～29日の2泊3日の日程で、四国・中国方面に「修学旅行」に行きます。それぞれの行事で感染症対策を徹底した上で、充実した教育活動になるようにと、考えております。

※裏面には「桃陵中学校 5月行事予定」を載せています。